

地域の歴史にふれよう Part2

九十九里浜沿岸と戦争

～ 幕末の一宮藩の海防政策と終戦間際の「ふ」号作戦から ～

白子海岸沖に異国船があらわれた!?

九十九里沿岸の幕末期は、**異国船来航**に備えた各藩による海防政策がとられ、「外からの脅威」に対抗していました。その100年後の太平洋戦争末期、今度は「外への攻撃」手段、**風船爆弾**の打ち上げ基地が一宮海岸に設置され、アメリカ本土への攻撃が行われました。今回の講座では、「戦争」にまつわる2つの歴史をみていきます。長生地区にお住まいの方は、**一聞の価値あり!**

主 催 白子町の文化財を守る会（白子町文化協会）

日 程 令和7年7月17日（木）

時 間 13:30～15:00

場 所 白子町青少年センター

講 師 一宮町教育委員会

学芸員 江澤 一樹

定 員 20名 **参加費無料**

申 込 参加を希望される方は準備の都合上、7月11日までに、担当（長島）までご連絡ください。



一宮藩台場跡 案内看板



風船爆弾 気球部分破片

連絡先

白子町教育委員会生涯学習課 長島

TEL: 0475-33-2144

MAIL: syougai@town.shirako.lg.jp